

「田辺圏域医療と介護の連携を進める会」
第97回（通算第176回）定例会 会議録

- ◆日時：令和7年1月21日（火） PM7：05～8：30
◆場所：田辺市医師会館 3F 大講堂
◆出席者：20名 + オンライン2名
別紙のとおり

1. 「田辺圏域医療と介護の連携を進める会」定例会について

【19：05～20：30】

19：05～ 開 会

19：05～19：10 情報提供

- ・市民向け啓発映画「ケアニン～こころに咲く花～」
- ・医療と介護の専門職向け研修会
「田辺圏域でつなぎ進めるアドバンス・ケア・プランニング」
- ・南和歌山 MC 認知症相談支援センター研修会
「アルツハイマー病の検査と治療について」

19：10～19：40 研修

「119番通報について」

講師：田辺市消防本部 警防課 井谷 充孝氏

19：40～20：30 意見交換と発表

20：30 閉 会

【研修内容】

○119番通報

- ・田辺西牟婁地区消防通信指令 ⇒ 和歌山南広域消防通信指令センターへ
平成28年4月に運用開始。田辺市消防本部と白浜町消防本部で構成し、田辺・上富田・白浜・すさみ町の通報を担当している。令和8年4月には県南部12市町（田辺市消防本部＋白浜町消防本部＋串本町消防本部＋日高広域消防事務組合）に拡大する予定。

- ・通報入電件数（令和5年度） 13,886件（一日 約38件）

	件数	出動件数		件数	出動件数
火災	84件	60件	救急	8,645件	8,607件
救助	238件	211件	その他	4,919件	

- ・119番通報の流れ

119通報を受けた時点で、指令センターから出動指令がかかり、動き始める。最寄りの消防署に電話をしてしまうと、出動する人が状況を聞くことになるので、動き始めが遅くなる。ちょっとした問い合わせは最寄りの消防署でもいいが、救急は「119」へ。

訪問先で緊急事案が発生し、事務所に連絡し。事務所の人から救急要請されることがたまにある。事務所の人には現場の状況がわからないことが多く、現場の人になおすこともある。

傷病者の状況により指令センターから指導することもあるし、状態によったらドクターカーやヘリ搬送を検討したりする。対象者のそばにいる人が「119」をかけてほしい

- ・田辺市消防本部公式 YouTube チャンネルに通報の流れの動画があるので、ぜひ参考に。

- ・119通報を受けたとき

① 火事ですか？救急車要請ですか？ ⇒「火事です」Or「救急車です」

② 向かう場所はどこ（〇町〇〇番地）ですか？

⇒①住所の回答 ②施設等の名前の回答 ③目標物の回答

③ どなたがどうしましたか？

⇒簡潔な状況説明。主訴や状況を伝える。伝えるのは「今」の情報。今までの経過などを詳細に説明してくれることが多いが、今の状態をちゃんと言ってほしい。それをもとに判断している

④ 意識はありますか？会話はできていますか？呼吸はできていますか？年齢は？性別は？

⇒聞かれたことにこたえる。この時点で救急車は出動する。そのあと、ゆっくり詳しく聞き始める。

⑤ 顔色は？冷汗は？体位は？

⑥ いつから？何をしています？そのほかの症状は？既往歴や通院歴は？

⇒それぞれ答えてください

⑦ 最後に通報者のお名前と電話番号をお聞きして、救急車両の誘導をお願いして切断

- ・「サイレンを止めてきてください」と言われることがありますが・・・

緊急車両なのでサイレンを止めて走行することはできません。ご理解のほどよろしく願います。

- ・田辺市救急安心センター「#7119」

相談ダイヤルです。119通報に迷ったら、まず相談を！

ただ、田辺と上富田町のみ。ぜひ自治体へ導入するように伝えてほしい

【意見交換】

- ・ドクターヘリやドクターカーの搬送（要請）基準はあるのか？

→「時間」や「状況」による。どちらが早くに行けるか、ヘリはヘリポートや天候にも左右されるし、さまざまな要素をもとに判断している。

- ・在宅主治医と相談して緊急搬送になった事例で、通報時に経過を説明してきてもらう方がいいのか、普通に呼んだ方がいいのか？

→119通報を受けた時点で救急車は動き出すので、詳しい情報は現場に着いた救急隊に伝えてもらえばいい。

- ・救急車を呼んだ方がいいかの問い合わせはふつうの番号（22-0119）か？「#7119」のどちらがいいか？

→「22-0119」は消防職員がでる。「#7119」は看護師や医師がでるので、こちらのほうがいろいろな判断ができる。ベストはこちら。「22-0119」にかけるんだったら、「119」で指令室にかかるようにした方がいいと思う。119通報はGPSを使用して、一番近いところから出動できる。 「#7119」 > 「119通報」 > 「22-0119」

- 「メール 119」「ネット 119」「緊急通報システム」について聞きたければどうすればいいか？
→詳しくは保健福祉部局へ
- 「119 通報」は受けたら、現場に行かないといけないのか？
→必ずではないが、緊急だと思って対応している。
時々まちがい電話で 119 にかけてしまって、何も言わずに切られることがあるが、指令室は「本当に緊急事態なのに切れてしまったのかも」と思ってしまう。なので、折り返し電話をして確認している。だから、まちがい電話をかけてしまった時でも、きちんと「間違っちゃってかけてしまった」と説明してくれるほうがいい。
- 今後救急車を要請したら、お金がかかるようになるのか？
→全国的に出動件数が多くなり、有料化を検討しているところもある。例えば三重県松阪市だが、有料化することで効果はでている。
- 救急要請をすべきか悩むことがある。
→#7119 をご活用ください。和歌山県内でこの取り組みを始めたのは田辺市。田辺と上富田だけだが、いい取り組みなのでしっかり活用してほしい。
救急要請する人をお願いしたいこととして、「家族の連絡先」「家への誘導」「お薬手帳や保険証などの準備」
- 外国人の通報にどう対応しているのか？
→24 時間体制で同時翻訳で通訳を介して対応している。

【次回の定例会】

→以下の日程で実施する。

日時：令和 7 年 2 月 18 日（火） 午後 7 時～

場所：田辺市医師会館 3F 大講堂

内容：認定看護師の専門性について

講師：訪問看護ステーションたいよう